

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月21日

石川県知事 殿

提出者

住所 石川県能美市道林町口22番地

氏名 根上工業株式会社
代表取締役 西田 武志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0761-55-3121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 根上工業株式会社

事業場の所在地 石川県能美市道林町口22番地

計画期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 化学工業・有機化学工業製品製造業
プラスチック製造業(1635)

②事業の規模 50億円

③従業員数 120人

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 別紙1のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙1のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙2のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類および分別に関する取組) 別紙2のとおり
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類および分別に関する取組) 別紙2のとおり

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

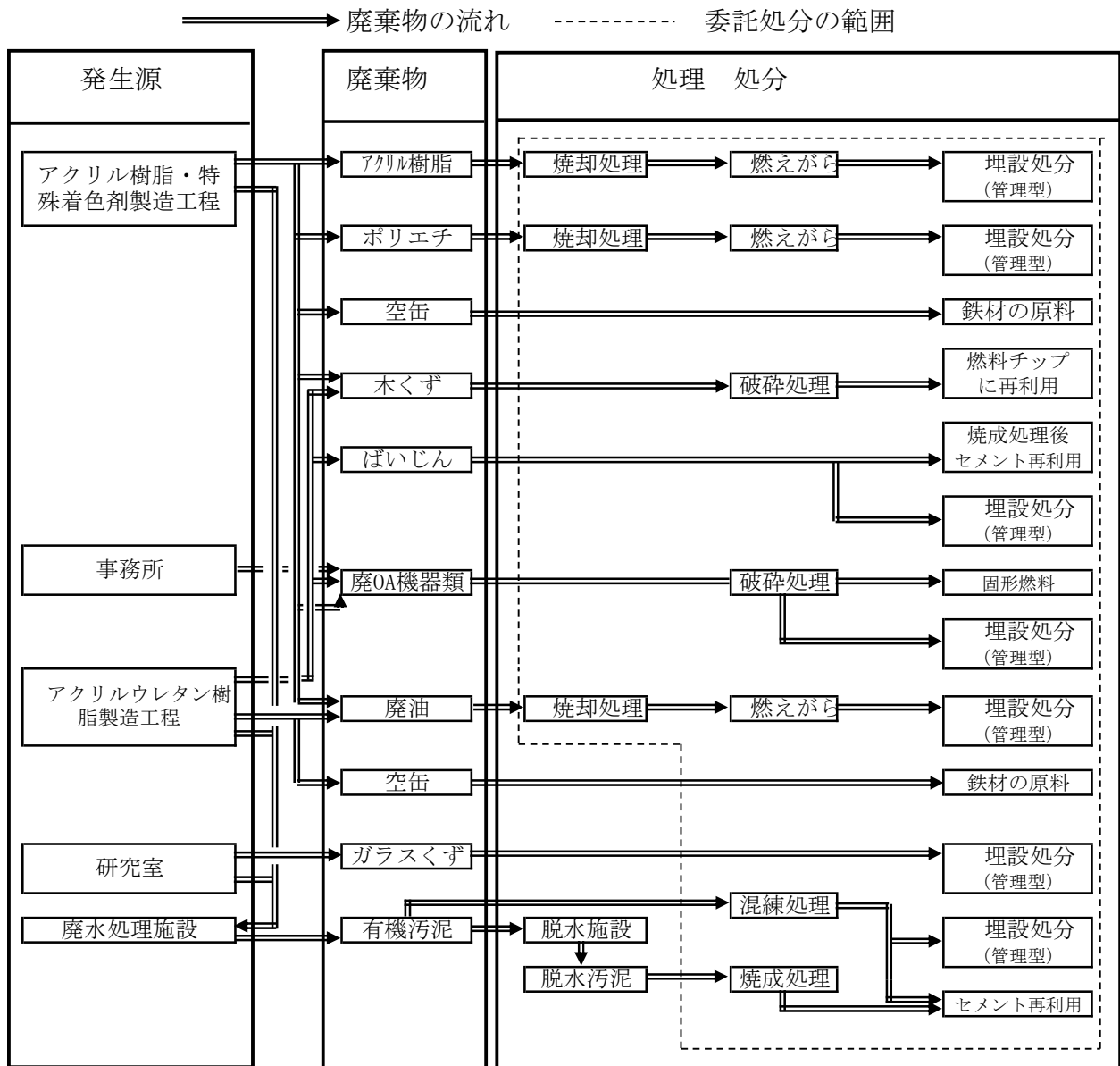
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】 別紙3のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	257.1 t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標および取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量および認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨および理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程



特別管理産業廃棄物処理フローシート（現状）

（管理体制図）

統括責任者	専務取締役 社長	
廃棄物事務担当	業務部	
廃棄物処理担当		
役割	統括責任者	○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ○ 産業廃棄物処理方針の策定
	廃棄物事務担当	○ 廃棄物処理計画の作成
		○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
	廃棄物処理担当	○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握
		○ 処理業者、再生事業者の調査、選定及び管理
		○ 委託契約の締結
		○ 産業廃棄物管理票の交付・管理
		○ 特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置
		○ 監督官庁への各種報告
		○ その他関係する事項

別紙 2

■特別産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(排出量単位：t)

①現状	【前年度（ R5年度）実績】							
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃油(有害)	汚泥(有害)	特定有害産業廃棄物	強アルカリ	強酸	廃アルカリ(有害)
	排出量	257.1	0.000	0	0.020	0.00000	16.2700	0.00000
	(これまでに実施した取組)							
	具体的取組	種類	実施した取組					
発生抑制	引火性廃油	不良品の発生の抑制。						
②計画	【目標】前年度排出量の2%削減							
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃油(有害)	汚泥(有害)	特定有害産業廃棄物	強アルカリ	強酸	廃アルカリ(有害)
	排出量	252.1	0.000	0.00000	0.020	0.00000	15.9510	0.00000
	(今後実施する予定の取組み)							
	具体的取組	種類	実施する予定の取組み					
発生抑制	引火性廃油	不良品の発生の抑制。						

■特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	特別産業廃棄物の種類:廃溶剤、アクリル樹脂、ウレタン樹脂、強酸、強アルカリ、廃酸(有害)、廃アルカリ(有害) 分別に関する取組:各種廃棄物の保管場所を設け、保管容量・保管状態の管理。	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
現状維持。		

別紙 3

■特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(単位：t)

【前年度（ R5年度）実績】							
特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃油（有害）	汚泥（有害）	特定有害産業廃棄物	強アルカリ	強酸	廃アルカリ（有害）
全処理委託量	257.1	0	—	0.020	0	16.27	—
優良処理業者への処理委託量	257.1	0	—	0.020	0	16.27	—
再生利用者への処理委託量	229.07	—	—	0.000	0	16.27	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	28.1	0	—	0.020	0	0	—
(これまでに実施した取組) ・不良品の発生の抑制							
【目標】前年度排出量の2%削減							
特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃油（有害）	汚泥（有害）	特定有害産業廃棄物	強アルカリ	強酸	廃アルカリ（有害）
全処理委託量	252.1	0.000	—	0.020	—	15.951	—
優良処理業者への処理委託量	252.1	0.000	—	0.020	—	15.951	—
再生利用者への処理委託量	224.6	—	—	—	—	15.951	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	27.5	0.000	—	0.020	—	0.000	—
(今後実施する予定の取組) ・不良品の発生の抑制							

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月21日

石川県知事 殿

提出者

住所 石川県能美市道林町口22番地

氏名 根上工業株式会社

代表取締役 西田 武志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	根上工業株式会社
事業場の所在地	石川県能美市道林町口22番地
事業の種類	化学工業・有機化学工業製品製造業 プラスチック製造業(1635)
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	203.4 t	全処理委託量	203.4 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	203.4 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	167.3 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.1 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	319.3 t
	前年度	207.5 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)		
電子マニフェスト導入済み 【2017年4月1日より】		

※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：引火性廃油)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 257.1

(重量：t)

自ら直接再生利用した量
②

自ら直接埋立処分した量
③

自ら中間処理した量
④

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 257.1

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 257.1

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 229.07

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

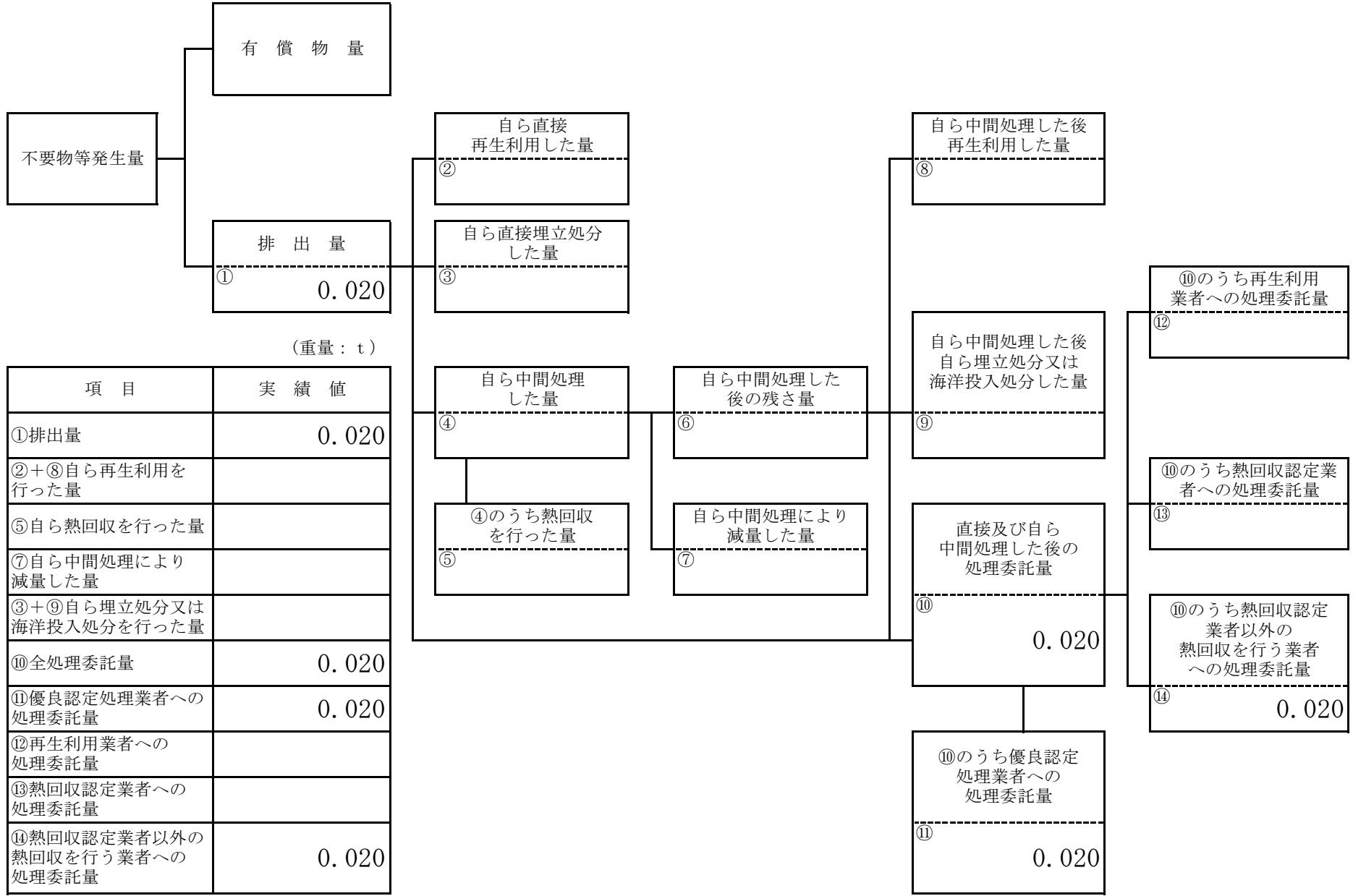
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 28.1

項目	実績値
①排出量	257.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	257.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	257.1
⑫再生利用業者への処理委託量	229.07
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	28.1

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：特定有害産業廃棄物)

)



排出量
① 0.020

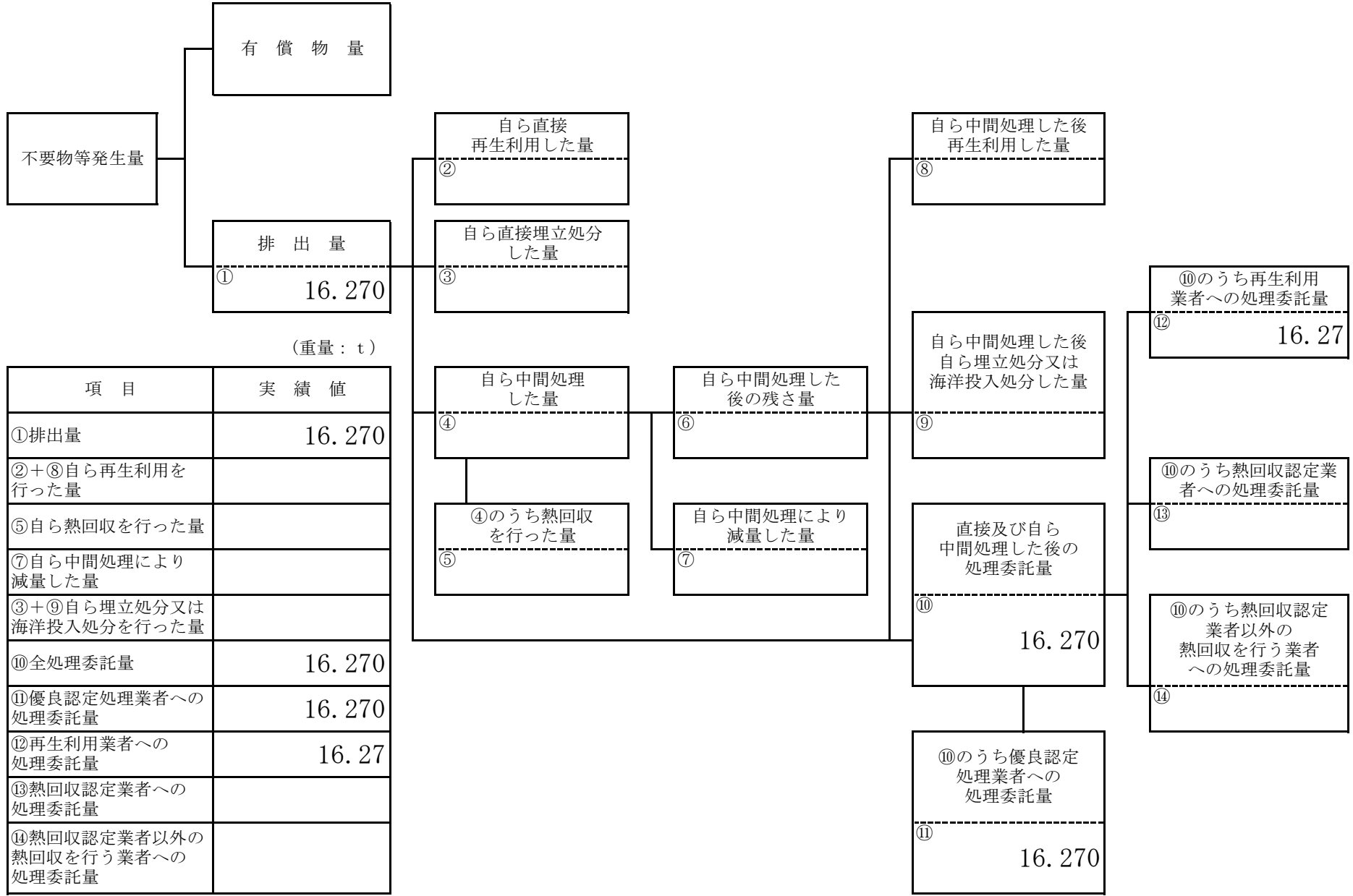
(重量：t)

項目	実績値
①排出量	0.020
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.020
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.020
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.020

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：pH 2.0以下の廃酸)

)



項目	実績値
①排出量	16.270
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	16.270
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.270
⑫再生利用業者への処理委託量	16.27
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。